

一般質問(要旨)

●質問者

3月5日(水)

坂本 隆司
(いばらき自民党)

3月7日(金)

木村 喜一
(いばらき自民党)

八島 功男
(公明党)

うの のぶこ
(市民ネットワーク)

大足 光司
(国民民主党)

金子 敏明
(無所属)

3月6日(木)

松田 千春
(いばらき自民党)

3月10日(月)

設楽 詠美子
(立憲いばらき)

長田 麻美
(日本維新の会)

江尻 加那
(日本共産党)

高橋 勝則
(いばらき自民党)

こちらから録画映像でご覧になれます。▶

https://ibaraki-pref.stream.jfit.co.jp/?tpl=gikai_result&gikai_id=171



八島 功男 議員
公明党 土浦市選出

日本政府の核兵器禁止条約締結国会議のオブザーバー参加に対する知事の所見

議員 「被爆80年」でもある「戦後80年」の本年に、唯一の戦争被爆国である日本が、「核なき世界」の実現のための国際協力体制の構築などに向け、同会議にオブザーバーとして参加することに意義があると考えるが、所見は。

議員 予期せず始まる「育児と介護の同時進行」のダブルケアは、大きな課題である。改定予定の「茨城県ケアラー支援推進計画」に落とし込み、重層的支援体制の整備などが必要だと考えるが、所見は。

福祉部長 市町村における重層的支援体制への移行を促進しつつ、まずはダブルケアの実態を把握するための調査を行っていく。

(ほかに、物価上昇を上回る賃上げの実現のための価格転嫁の実現への取組、TX土浦延伸構想フェーズ2の推進なども質問)



病気の家族を介護しながら子育てもする方



松田 千春 議員
いばらき自民党 潮来市・行方市選出

なめがた地域総合病院への復活による行方・潮来市旧行方郡の医療過疎からの脱却

議員 土浦協同病院なめがた地域医療センターの入院受け入れの休止が最大の要因で、鹿行広域消防の救急搬送時間が、全国42位である県平均の時間から約15分以上も長い。旧行方郡の医療過疎からの脱却に向けた取り組みは。

議員 カメムシ被害の斑点米は等級を低下させ、農業者の経営に大きな打撃を与える。薬剤の広域的なドローン散布のための共同防除組織の構築など、重点的な対策を行っていただきたいが、所見は。

農林水産部長 農業共済組合などの共同防除の強化を働き掛けるほか、新たな共同防除組織の設立に向けては防除機械の導入を支援するなど国補事業の活用を促進する。

(ほかに、県内建設業の育成、霞ヶ浦北浦の未利用魚の回収制度の拡充と利用拡大なども質問)



カメムシ被害による斑点米



坂本 隆司 議員
いばらき自民党 龍ヶ崎市・利根町選出

県南地域の発展とシンボルとなる施設の誘致

議員 本県を活気あふれた県にするためには、県南地域のさらなる飛躍が必要である。今後の発展に向けた県の考えとシンボルとなる施設誘致についての所見は。

知事 施設誘致は地域のまちづくりを担う市町村が主体的に進めることが基本である。県は、市町村の取り組みを後押ししながら、東京圏との近接性や広域交通ネットワークの利便性を生かして発展するため県南地域の将来像の実現のため全力で取り組んでいく。

部活動から新たなスポーツ・文化芸術活動への移行

議員 子どもたちは時代の変化などにより今までどおりのことが普通に通にできない状況になっている。子どもたちを第一に考えた上で、どのように新たなスポーツ・文化芸術活動の環境を整えていくのか。

教育長 主役は生徒であり今後の部活動改革も生徒を第一に考えて進めなければならないと認識している。関係団体と連携しつつ環境整備にしっかりと取り組んでいく。

(ほかに、ウナギの養殖への挑戦、県道美浦栄線バイパス工事の進捗状況なども質問)



部活動の様子(野球)



大足 光司 議員
国民民主党 高萩市・北茨城市選出

食による健康づくりの取組

議員 食事は健康づくりの基礎であり、健康的な食事の重要性を県民や外食産業へ啓発することが必要と考える。県の取り組み状況は。

保健医療部長 いばらき美味しおDay※1を定め、学校や県内企業などと連携し、県民の減塩意識の醸成を図るほか、栄養バランスに配慮したレシピの配布、食生活改善推進員などへの研修による地域の食環境整備などを行っている。

引き続き、関係者と連携し、食による健康づくりに取り組んでいく。

(ほかに、観光振興、高萩市における緊急輸送道路等の整備状況なども質問)



「常陸牛煌」のブランド発表の様子

常陸牛の振興方策

議員 常陸牛煌をはじめ、常陸牛全体が、和牛を代表するブランドとなるよう、県はどのように振興を図っていくのか。

農林水産部長 ゲノミック評価※2を活用した生産対策や、メディア露出などにより、常陸牛煌のブランド力向上を目指す。また、本県独自の格付基準を導入し、常陸牛の品質を担保するなど、他にはない特色をアピールしていく。

(ほかに、

茨城県議会では、県民から意見聴取・情報収集などを行い、議会の活動や広報に反映させることを目的に、令和3年11月から「県議会モニター制度」を実施しています。

令和6年度は9名の方をモニターとして委嘱し、議会活動と議会広報について意見調査を行いました。

議会活動では、令和6年第1回定例会の中継や議事録などをご覧いただいた上で、「分割質問の方が分かりやすい」、「ホームページの議事録を理解しやすくなるための工夫をして欲しい」などのご意見を頂きました。

また、議会広報では、県議会だよりについて「文字が小さく細いため見づらい」、ホームページについて「メニュー項目が多く、目的の情報にたどり着くまでに時間がかかる」などのご意見を頂きました。

頂いたご意見を踏まえて、ホームページの議事録検索画面に議会で使用した資料へのリンクを掲載するなどの改善を行いました。

令和7年度も14名の方をモニターとして委嘱し、ご意見を頂く予定です。

引き続き、モニターの方のご意見を参考に、改善できるものは改善し、より開かれた県議会を目指してまいります。

ことば

※2【ゲノミック評価】…ゲノム（遺伝情報）を解析し、血統情報などと組み合わせ、牛一頭一頭の将来的な能力を評価する技術で、従来の手法と異なり子牛のうちに能力把握ができる。

※3【厚生連】…土浦協同病院なめがた地域医療センターの経営主体である茨城県厚生農業協同組合連合会。